

報道資料

平成 28 年 4 月 28 日

子育て支援企業の JP ホールディングス（証券コード 2749）

## 巡回相談に対する保育者の援助要請を考える

株式会社日本保育総合研究所 発達支援チームが学会発表

子育て支援事業最大手 株式会社 JP ホールディングス（荻田和宏代表取締役、東証 1 部）のグループ会社、株式会社日本保育総合研究所は、日本保育学会第 69 回大会において研究発表を行います。

### ■■■概要■■■

- タイトル：巡回相談に対する保育者の援助要請を考える
- 発表者：株式会社日本保育総合研究所 運営課 発達支援チーム 熊上藤子  
共同研究者：大阪府富田林子ども家庭センター 小池友紀  
筑波大学人間系 教授 安藤智子
- 大会名：日本保育学会 第69回大会 (<http://www.gakkai.co.jp/hoiku69/>)
- 日時：5月8日（日）9時30分～11時30分
- 会場：東京学芸大学 K-6 会場 N205（北講義棟=N 棟 2 階）  
発表 ID1219（口頭発表）

株式会社日本保育総合研究所 発達支援チームは、『特別な支援ニーズのある子の保育も考えながら集団保育を行う』という高い専門性が求められる保育者を援助するため、保育施設への巡回相談を行っています。巡回相談では、保育者と巡回者によるコンサルテーションの充実が重視されますが、一方で、この巡回相談が開始されるためには、現場の保育者による適切な援助要請が必要です。

本発表では、実際に巡回相談への援助要請からコンサルテーションまでを経験した保育者に対して面接調査を行い、その結果として見出された援助要請に関する要因について、ご報告します。保育の質を高め、保育者が安心して保育現場に携わっていくために、周囲がどう援助していくべきか、保育現場の管理職の皆様や、発達支援に関する専門職の方々にご参考にしていただければ幸甚に存じます。

報道各位からの問い合わせ先

(株) JP ホールディングス 東京支社 広報 楚山

(株) 日本保育総合研究所 発達支援チーム 古屋

TEL 03-5332-7888 / FAX 03-5332-7889